

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回美幌町義務教育学校開校準備委員会（全体会議）
開 催 日 時	令和8年6月1日（月） 18時00分 開会 18時40分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ1階 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	【委員】 33名 水野委員、長崎委員、泉委員、葉茸委員、森（敦）委員、山口委員、山谷委員、伊藤委員、山田委員、北村委員、今野委員、高木委員、豊口委員、山内委員、中川委員、法邑委員、西村委員、中坪委員、新国委員、柳川委員、豊島委員、川原委員、熊崎委員、黒澤委員、小林委員、佐々木委員、下山委員、寺崎委員、中山委員、長岡委員、西田委員、森（麻）委員、山本委員 【オブザーバー】 小室教育長
欠 席 者 氏 名	酒井委員、吉田委員
事務局職員職氏名	中尾教育部長、高田学校教育課長、弓山学校給食課長、浅野社会教育課長、但馬スポーツ振興課長、鬼丸博物館長、菅図書館長、薮下指導主事、辻総務G主査、佐藤総務G主査、梶原義務教育学校整備G主査、長嶺総務G主事補、森谷学校教育G主事、片山学校教育G事務補、 【オブザーバー】 以頭社会福祉課長、廣田建築主幹
議 題	1 開会 2 教育長挨拶 3 委嘱状交付・委員等紹介 4 委員長互選 5 副委員長指名 6 部会員指名 7 これまでの取り組み （1）美幌町義務教育学校基本構想 8 開校準備委員会の役割と進め方 （1）美幌町義務教育学校開校準備委員会の役割と進め方 （2）令和8年度の主な検討事項 9 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 （会議を非公開とした場合）	—
傍 聴 人 の 数 （会議を公開した場合）	1名
資 料 の 名 称	○議案 ○資料番号1 美幌町義務教育学校基本構想 ○資料番号2 美幌町義務教育学校開校準備委員会の役割と進め方 ○資料番号3 令和8年度の主な検討事項 ○部会名簿

会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局 小室教育長	1 開会 (進行：中尾教育部長) (口頭で事務局より説明) 本委員会は原則公開で実施し、本委員会閉会後に実施する各部会の協議においては非公開とします。また、会議時間は部会も含め遅くとも20時までの約2時間を予定しています。なお、要綱により委員長が議長を務めることとなっておりますが、委員長決定までの間は、事務局で進行を行います。 2 教育長挨拶 本日はご多忙の折、そして日中暑さが厳しかったということで大変お疲れの中、第1回目の義務教育学校開校準備委員会にご出席いただき、本当にありがとうございます。皆様には日ごろから、教育行政の推進にあたり、それぞれの立場でご尽力いただくとともに、町立学校の運営にあたりまして、深いご理解、ご協力をいただいておりますことに、まずもって心から厚くお礼を申し上げます。本委員会は、令和13年度の義務教育学校の開校を目指し、様々な課題に対しまして、一定の方向性を示すことを目的に設置している委員会であります。皆様にはお忙しい中にも関わらず委員をお引き受けいただきまして、重ねて感謝とお礼を申し上げます。 今日、教育環境においては、人口減少や少子化の進展、生成AIの普及、そして、先の見えない予測困難な社会の変化に伴いまして、大きな転換期を迎えていると考えております。本町においても、子どもたちの活動に支障をきたさない、集団による教育環境の維持や、一人一人の子どもたちがその可能性を最大限に伸ばす、公教育としての質の向上が求められていると考えております。 このため、令和6年7月に美幌町小中一貫教育推進ビジョンを策定するとともに、本年2月、5つの小中学校を再編し、現在の美幌小学校の敷地に、施設一体型の義務教育学校を整備する義務教育学校基本構想を策定したところであります。義務教育学校の最大のメリットについては、義務教育9年間を見据えた系統的、継続的な指導によって、確かな学力の定着、豊かな心の育成、そして健やかな体の発達を切れ目なく支援することにあると考えております。これまでの小中学校の良さを活かしつつ、教育課程の編成においては、4・3・2制を導入し、新たな学年の区切りの中で、子どもたちが創造的に考え、主体的に行動し、そして夢に向かって学び続ける学校像を構築してまいりたいと考えております。 義務教育学校が子どもたちにとって魅力ある学び舎となることはもちろん、地域コミュニティの中心として、町民の皆様にも末永く愛される学校となるように、委員の皆様と一緒につくっていききたいと思っておりますし、皆様にはどうか広い視野から、忌憚のないご意見、ご提言をいただければ幸いです。決して平たんな道のりではないと考えておりますが、新たな学校づくりは美幌町の将来を担う子供たちの学びと成長を支える取り組みであり、この町の未来を切り開く大きな一歩に結びつくと考えております。 教育委員会としては、子どもファーストで快適な学びを実現できるように、学校づくりにしっかりと向きあい、町民の皆様と情報を共有し、丁寧に議論を重ねてまいりますので、委員の皆様には、力強いご支援、ご協力をお願いできればと思っております。 結びに、本日本格的にスタートします新たな学校づくりが建設的な議論の下、順

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	調に進んでいくことを願いますとともに、委員の皆様のご健勝とご活躍、そしてふるさと美幌町で生活する全ての子どもたちの健やかな成長を願って、私からのご挨拶とさせていただきます。 3 委嘱状交付・委員等紹介 （委嘱状については卓上へ配布し、委員と事務局、オブザーバーの紹介を行った。）
事務局	4 委員長互選 委員長の選任につきましては、美幌町義務教育学校開校準備委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の皆様の選出により、委員長を決定することとしております。委員長の選出について、皆様よりご提案はございますか。
寺崎委員	事務局案はありますか。
事務局	ただいま、事務局案というご提案がございました。事務局から案をご提案させていただいてよろしいでしょうか。 （異議なし）
事務局	ありがとうございます。事務局案としましては、基本構想の策定の段階から関わっていただいております中山委員に委員長をお願いしたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。 （異議なし）
事務局	ありがとうございます。それでは中山委員を委員長として選任いたします。 （中山委員、委員長席へ移動）
事務局	それでは委員長に選任されました中山委員長よりご挨拶をいただきます。
中山委員長	（中山委員長挨拶）
事務局	ありがとうございます。ここからの進行については中山委員長にお願いいたします。
中山委員長	5 副委員長指名 （進行：中山委員長） 副委員長については、美幌町義務教育学校開校準備委員会要綱第5条第3項の規定に基づき、委員長の指名により副委員長を決定することとしております。私からは西田委員に副委員長をお願いしたいと思います。委員の皆さんいかがでしょうか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	（異議なし）
中山委員長	ありがとうございます。それでは西田委員を副委員長として選任いたします。副委員長に選任されました西田委員より一言お願いいたします。
西田副委員長	（西田副委員長挨拶）
中山委員長	ありがとうございます。
中山委員長	6 部会員指名 各部会の部会員については、美幌町義務教育学校開校準備委員会要綱第7条第2項の規定に基づき、委員長の指名により決定することとしております。各部会の割り振りは配布する資料のとおりとさせていただきますので、確認をお願いします。
事務局	（部会名簿配布）
事務局	事務局から若干補足をさせていただきます。各部会員については、委員長が指名して決定ということで資料を配布させていただいております。各委員の皆様につきましては、ご自身の氏名が記載された部会で、部会員としてお願いをいたします。部会の協議内容につきましては、後ほど部会協議の際に事務局から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。
中山委員長	ありがとうございます。
中山委員長	7 これまでの取り組み これまでの取り組みについて事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料番号1により事務局から説明） 基本構想は、美幌町が目指す、小中一貫教育や教育課程の基本的な考え方、学校の整備方針をまとめたものとなっております。この基本構想を具現化するため、様々な事項について、委員の皆様と協議を行い、令和13年度の義務教育学校の開校を目指すこととなります。委員の皆様には美幌町の未来の子どもたちのため、ご尽力のほどよろしくお願いいたします。
中山委員長	ありがとうございます。事務局から説明がありました基本構想の内容について、ご質問や確認したいことがありましたら、ご発言をお願いします。 （質問等なし）
中山委員長	ありがとうございます。
中山委員長	8 これまでの取り組み 開校準備委員会の役割と進め方について事務局から説明をお願いします。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	（資料番号２と資料番号３により事務局から説明） 開校準備委員会の目的は、令和13年度の開校にあたって、ハード、ソフト、両面の様々な課題に対し、一定の方向性を示し、初代校長に適切に引き継ぐということとしています。細かいところまですべてが決まらないものがあるかもしれませんが、そこは初代校長が実践しながら進めていく部分もあるかと考えています。「適切に引き継ぐ」というのはその点も含めて表現しておりますので、ご理解をいただければと思います。 今後は各部会での協議をメインに進めてまいります。今行っている全体会議は２か月に１回程度の開催を予定しており、各部会の協議結果をこの場で報告する、また、各部会で協議を行った事項を最終的に全体で確認するという場として位置づけしております。また、校名など学校設置者である町長との協議に係る事項については、総合教育会議での協議で決定し、教育委員会の定例会で最終的な意思決定を行うということを予定しています。情報発信については、ホームページ、毎月の広報に加えて、開校準備委員会だよりを作成し、資料の配信や認定こども園や保育園等の施設への掲示など周知を行ってまいりたいと考えております。全体会議については、原則公開、部会については非公開という位置づけにしておりますので、ご承知おきいただければと思います。次に各部会の主な検討事項ですが、施設・渉外部会では学校施設の配置、機能など、教育課程部会では９年間のカリキュラムや日課表、美幌スペシャル、美幌スタンダードを具現化したカリキュラムの内容など、特別支援部会では子育てサポートファイル「ハグミン」の活用、通級指導の在り方、特別支援・通級指導に関わる施設デザインなど、生徒指導部会では校則や学校の決まり、児童会・生徒会・各委員会の体制、通学路や自転車通学の取り扱いなど、地域連携部会では校名、校歌、校章、校旗、制服・ジャージ・指定用品などの検討を予定しております。具体的にはこの後の部会で内容やスケジュールを確認いたします。以上、よろしくお願いいたします。
中山委員長	ありがとうございます。事務局からの説明についてご質問等ございましたらご発言をお願いします。
下山委員	教育課程部会ですが、美幌スペシャル、美幌スタンダードがしっくりきていない。英語教育が本当に今の時代に必要なのかと思っているが、英語教育の方向性については、考え方が変わることはないのか。
事務局	美幌町小中一貫教育推進ビジョンを踏まえた中で、昨年度、開校検討委員会で基本構想を策定した経過がございます。基本的な方針は基本構想の策定の中で協議を行っておりますので、開校準備委員会ではその基本構想の具現化を進めていくこととなることから、考え方が変わることは想定していない。
中山委員長	ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。 （質問等なし）

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中山委員長	それでは、予定しておりました議題は全て終了いたしました。以上をもちまして、令和８年度第１回美幌町義務教育学校開校準備委員会の全体会議を終了いたします。 ９ 閉会 <u>１８時４０分 閉会</u>